

北海道議会議員

Go forward! 北海道 たけだ ひろみつ 光道政通信

所属会派：民主・道民連合

**住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします!**

発行：たけだ浩光政務事務所 〒063-0811 札幌市西区琴似1条7丁目1-35 ☎011-624-8030 FAX 011-624-8031



# 特集

## 道内調査



いろいろ見て、聞いてきました...

私が所属する「人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会」で1月24日から26日までの3日間、上川総合振興局管内を道内調査で行ってまいりました。地方創生や人口減少問題に係る市町村を取り巻く環境などを把握するため、旭川市において上川総合振興局内9市町長と意見交換を行い、東川町・下川町・名寄市・美深町において、地方創生の取組の概要説明を受け、質疑、意見交換の実施及び関係施設を視察してきました。

### 上川管内市町長との意見交換

様々な意見交換を行いました。その中でも印象に残ったのは、各市町で独自に小学校の給食費無償化に取り組んだりしていますが、全部が無償化できているわけではない。これは住んでいる地域によって、教育に不公平が生じている。是非とも、道が音頭をとって、国に強く全国一律の対応を求めてほしいと要望されました。これは、私たちの会派がこれまで主張してきたことと全く同意見であり、この取組を強く推進していかなければならないと感じました。



旭川市役所での意見交換会

### 東川町長との意見交換

皆さん知ってのとおり、東川町は、この人口減少時代において、30年にわたって、ゆるやかに人口が増加している町です。昭和60年に「写真の町宣言」をして以降、様々な特徴的政策で定住人口を増やしてきました。全ての自治体と同じ方法で、人口増加になるわけではありませんが、上水道がなく全戸が地下水で生活するなど、その地域の特性を活かしながら定住人口を増やしています。また「適度に過疎な町」を目指し、2022年に「ゼロカーボンに取り組む**適疎**な町」宣言をしています。



東川町長の話聞く道議の各委員

今、全国的に「人口減少」が問題となっており、少子化対策に力を入れています。北海道も510万人を割ったと報道されたところです。北海道の人口の約4割近くが札幌に一極集中していますが、しかし、6割以上の人々は札幌以外で生活をしています。地方をいかに活性化させ、住みやすい街づくりをしていくのが重要であり、そのために北海道が果たす役割は大きいものと思っています。



下川町役場での意見交換

次ページに続く→



名寄市立天文台



国立研究開発法人  
薬用植物資源研究センター（名寄市）



飼育され、研究されて  
います（美深町）



チヨウザメ飼育研究施設の中で



公益財団法人  
ドナルド・マクドナルド・ハウス  
チャリティーズ・ジャパン

Keeping families close™

ドナルド・マクドナルド・ハウスにも行ってきました

1月17日、木葉道議（江別市）、田中道議（中央区）、清水道議（手稲区）とともに、ドナルド・マクドナルド・ハウスに行ってきました。皆さんは、この施設をご存知でしたでしょうか。これは、病気の子どものための滞在施設です。その歴史は、フィラデルフィアで活躍していたアメリカンフットボール選手の愛娘（3歳）が白血病にかかり、入院することになりました。娘の入院中、彼がそこで目にしたのは、狭い病室で子どもの傍らに折り重なるようにして寝ている母親、やむなく病室内の自動販売機で食事を済ませている家族の姿でした。彼もまた入院先の病院が自宅から遠く離れていたため、精神的にも経済的にも苦痛を感じていました。そこで病院近くに家族が少しでも安らげる滞在施設ができないものかと考え、近くにあるマクドナルドの店舗オーナー、病院の医師、そしてフットボールチームの協力を得て募金活動が進められ、1974年フィラデルフィアに世界初の「ドナルド・マクドナルド・ハウス」が誕生しました。現在全世界で約380か所、国内では12か所開設されており、北海道には北海道立子ども総合医療・療育センター（愛称：コドモックル）横に建てられています。



難病などで、長期入院を余儀なくされている子どもはたくさんいます。完全看護を標榜している病院では、原則、親の付き添いは必要ありませんが、子どもが低年齢の乳幼児の場合、病院にとっても、子どもにとっても親の付き添いが必要な場合がありますし、病気で入院している子どもの親の心情的にも付き添ってあげたというのが心情です。しかし、病院は診療報酬制度であり、入院している子どものためのベッドと病院給食は供給されますが、付き添いのためのものは供給されません。

こうした問題点については、私の道政報告会においても話が出て、何とかしてほしいと要望をいただいているところです。私としても、ぜひ解決に向けて活動してまいりたいと考えているところです。

### たけだ浩光プロフィール

- 【すまい】 西区西野（在51年）
- 1960年 江別市生まれ  
その後、すぐ札幌へ
- 1973年 札幌市立二十四軒小学校 卒業
- 1976年 札幌市立手稲東中学校 卒業
- 1979年 北海道立札幌西高等学校 卒業
- 1980年 北海道大学水産学部 中退
- 1985年 北海道大学医学部附属  
診療放射線技師学校 卒業
- 1985年 札幌医科大学附属病院勤務
- 2019年 北海道議会議員 初当選
- 2023年 北海道議会議員 二期目当選

こうした施設が北海道で1か所では、とても足りないのですが、このドナルド・マクドナルド・ハウスも皆様の寄付とボランティアで成り立っています。



皆様の温かいご協力をぜひともよろしくお願いいたします。少子化のなか、大切な子どもの命をつないでいきましょう！